

静脈注射Ⅰ・Ⅱ研修

～基礎から学ぶ静脈注射～



新卒者78名は、5月28日（月）・29日（火）に新卒者研修「静脈注射Ⅰ・Ⅱ」を受講しました。薬剤師より「注射剤に関する基礎知識」、業務担当副看護部長より「静脈注射実施の法的解釈の経緯と看護業務の法的位置づけ」、看護職キャリア支援教育担当より「静脈注射の基礎知識と手技」の講義を受けました。その後、事例に沿って翼状針を使用した末梢点滴静脈注射、末梢静脈注射（側管注）の演習を行いました。静脈注射をより安全・確実に実施するためには、薬剤の知識や正しい手技が重要であることを再認識していました。また、薬剤に関する事故防止対策のルールである、7つのRightの確認やキョクイファイナルチェックの徹底が患者さんの安全につながると実感していました。



【講義】

看護師による静脈注射の基本的な考え方と実施範囲やハイリスク薬剤などに関する内容が組み込まれており、研修者は熱心に講義を聴講していました。

末梢静脈注射

【側管注】

薬剤投与前後で、キョクイファイナルチェックに沿って、指差し声出し確認を意識して行っていました。



末梢点滴静脈注射【翼状針】

研修者は、お互いに翼状針を穿刺し、固定から抜針までの演習を行いました。穿刺部位の選択や穿刺の角度などマニュアルを確認し、教育担当者の指導を受けながら実施しました。患者役を体験したことで、翼状針の固定や抜針時の針先の動きによる苦痛や翼状針が身体に固定される不快感を実感していました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当